

主義が金融恐慌の混濁を通じて急速に上昇し、ある事之等の諸勢力及び動搖は世界資本主義の流を決定づけるものである。
而して之等資本主義諸國は殖民地諸國に於て衝突し種々の矛盾の暗流を有し居る（元資本主義の絶対にはけり事の出来ぬ訣である）

南洋印度支那等々の殖民地並に半殖民地を控へて（西アフリカ、労働階級、反抗殖民地の反抗の内包シタル矛盾、不安）日英米対立の尖鋭化を見れば僅かに軍縮會議等によつて其の尖鋭を延期しつゝ、ある見よ更に之等の傾向に對立して帝威ロシヤの勢力の抬頭の事實を窺ふ、

世界の資本主義は今の矛盾の上になつた安定であると共に其れが大なる死の前の小産である此れとして世界の資本主義が没落の一路を辿り、ある事は言を待たない條とながら戦後奈落のドン底に沈まんとして居た資本主義が一時的に止せし陣營を建て直してある事實を見る點に於て之を恒久的に見る極右翼と異ると同時に恒久的に見る極左翼と異り吾等は進んで之を恒久化せんとする傾向と決定的に對立するものである

ロ、日本資本主義の現勢
歐洲戦後日本は資本主義は世界的没落の潮流に合して絶えず動搖を繰り返して来た大正九年の恐慌大正十二年の震災後に於ては、金融恐慌の波に於ては、金融恐慌の波に於て恐慌と

動搖の連続である、金融恐慌を通じての資本主義の動き

日本資本主義は産業の合理化政治的欺瞞採取による切抜策を以て資本主義内の矛盾を

行んとせり
乙、産業の合理化とは

工場閉鎖時同の延長貸銀低下失業者の噴出農村に於ける立毛差押並に禁止等々内包するに進入して其の本来的道たる資本の集中並に企業の合同銀行の合同市場獲得の爲の努力が即ち産業の統一も可能樹進にあり又政治的権力による少数大資本間の支配確立間接に産業大衆に對する欺瞞的教育を完備して自覺を抑へ民衆運動を抑壓する等々である
外的矛盾をおもひに

日本の資本主義は殊に貧弱な自然資源を基礎として居る關係上必然的に帝國主義的侵略的色彩を濃厚にせざるを得ない、

滿蒙政策對支政策は最も露骨なるものである

日本の資本主義は一方に於ては尚封建的の遺制を多分に存する農業者としての面目を保持し居ることを忘るればならぬ資本主義の最も発達した形態と資本主義前期の形態を同じく農林會社の關係を深刻なものとし之等は貧窮階級に對する經濟的壓迫である